

18. 東京医科歯科大学医学部 (国立) Tokyo Medical and Dental University, School of Medicine

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

<http://www.tmd.ac.jp>

電話03-5803-5120

FAX03-5803-0112

教養課程

〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-30

電話047-300-7105

FAX047-300-7100

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約60分

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に別々に開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を「教育要項」（1・2年は教養部のしおり）という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて3年生に編入する。

編入生の編入時期はすべて4月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2年生である。

その期間と内容：

1年生：1日間：病院見学

1年生：1日間：患者エスコート実習

1年生：各1日間：臨床系教員，研究教員，看護師と過ごす1日

1年生：1日間：SPを利用した医療面接実習

1年生：1日間：ボランティア患者を利用したHistory Taking

2年生：1日間：介護施設実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

コアタイムの時間は

1年生は、平均して週2時間×年間3回である。

2年生は、平均して週2時間×年間3回である。

3年生は、平均して週6時間×年間4回である。

4年生は、平均して週6時間×年間3回である。

自習用に割り当てられている時間は

3年生は、平均して週6時間×年間4回である。

4年生は、平均して週6時間×年間3回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

- I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。
- J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

①初期医学教育の充実、②系別総合講義の拡充、③海外の医科大学との単位互換、④基礎医学、社会医学への配属（5ヶ月間）、⑤授業のハイブリッド化の拡充、⑥医学英語の充実、⑦PBLの拡充

- K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。
- L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

①一般教育と専門教育との区別をなくし、6年一貫教育を行うこと。
②クリニカルクラークシップの充実

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にある。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- C. 医学部のみの大学に伺います。
一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約53%である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は41%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約28%であった。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が4年生の時に平均して1週33時間×18週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。（75日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週33時間で、46週間である。
6年の時、1週33時間で、20週間である。
- C. 臨床実習科目はコア科目を必修とし、その他を選択必修科目としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。
その期間は全部で2週で、そこで行う実習科目は（診療所実習など）である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。

G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は可否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。

H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
マニュアルが刊行されている。
事前に学習枠を設けて学習している。
保険制度に加入している。
ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

A. 学生の海外における実習は基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある。
期間は最長 基礎医学実習は20週
臨床実習は 12週である。

7. 評価について

A. 進級判定が行われるのは2年終了時、3年終了時、4年終了時である。
B. 成績の記録法は数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）を採用している。
C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとの試験である。
時期は10月から11月まで、期間は6週間（長期休暇期間を除く）である。
D. 6年生の10月以降には、卒業試験が組まれている。
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学部長・学長、所属長、学生、自己である。
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。
その評価結果は昇進などに関係しない。
F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われた。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	0	15	31	0	0	46
	准教授	0	7	27	0	0	34
	講 師	0	5	42	0	0	47
	助 教	0	22	124	0	0	146
	その他	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	49	224	0	0	273

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授	0	0	292	0	0	292
	准教授	0	0	115	0	0	115
	講 師	0	0	59	0	0	59
	助 教	0	0	0	0	0	0
	その他	0	73	242	0	0	315
	合 計	0	73	708	0	0	781

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。(箇条書きで)

任期は教授 5 年, 准教授 4 年, 講師 4 年, 助教 3 年とする。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数 (平成19年12月現在)

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数 (今年度のみ)	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	78	16	0	0	0	0	0
2	85	19	0	4	0	1	1
3	88	26	5	4	2	1	1
4	81	30	5	5	3	0	0
5	85	33	5	2	2	6	3
6	90	20	8	2	0	2	1
合計	507	144	23	17	7	10	6

10. 平成19年 4 月 (今年) の医学部受験状況 (編入は含まず、1 年生のみ)

受験者数404名、合格者数79名、倍率5.1倍

入学者数78名、(定員75名、うち推薦入学者数 0 名)

入学者の状況：現役48名、1浪19名、2浪5名、その他6名、

定員外に別試験で入学した外国人学生 0 名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2 単科目

11. 平成19年 (今年) の 1 年生以外の編入学状況

編入学者数/応募者数

3 学年 5 / 102

12. 平成18年 4 月 (昨年) の医学部受験状況 (編入は含まず、1 年生のみ)

受験者数404名、合格者数81名、倍率 5 倍

入学者数80名、(定員75名、うち推薦入学者数 0 名)

入学者の状況：現役45名、1浪21名、2浪7名、その他7名、

定員外に別試験で入学した外国人学生 0 名、

センター試験を導入している

13. 平成18年 (昨年) の 1 年生以外の編入学状況

A. 編入学者数/応募者数 として表示してください。

3 学年 5 / 92

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

現在のところ検討されていない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		205	0	4
2		○		110	0	0
3		○		623	553	14
4		○		561	432	18
5		○		55	1305	0
6		○		22	698	0

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
	A	C	E	F	H	I
B		D				
C		G				
	J					

(註) A：教養科目

B：早期医学体験学習

C：基礎医学（組織，解剖，生理）

D：基礎医学（生化，薬理）

E：社会医学（公衆衛生，法医，医動物）

F：臨床医学

G：系別総合講義

H：基礎医学，社会医学，臨床医学の配属（学外を含む）

I：臨床実習，先端医学，CPE，卒業試験

J：医学英語

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	PBL/チュートリアル	合計時間数
多様な医師像	22			22
医学の展望	22			22
国際医療	22			22
医の原則	40		4	44
○腫瘍学	12	4	6	22
○神経科学	165			165
神経科学実習		22		22
○免疫Ⅰ	22			22
○免疫Ⅱ	22			22
○感染	66			66
感染系実習		45		45
○循環器学	55			55
○消化器	33	4	18	55
○呼吸器	33			33
○腎・体液制御	17	8	8	33
○生殖・発達・加齢	55			55
○内分泌代謝	22			22
○血液	22			22
○社会医学	33			33
人体構造総論	22			22
細胞の構造Ⅰ	22			22
細胞の構造Ⅱ	22			22
細胞の機能	22			22
人体発生学	11			11
人体解剖学	33			33
人体解剖学実習		135		135
臨床解剖学	22			22
組織学	22			22
組織学実習		45		45
生理学	33			33
生理学実習		45		45
生化学	22			22
生化学実習		45		45
薬理学	22			22
薬理学実習		45		45
病理学総論	22			22
病理学実習		90		90
C P E	22			22
衛生学	22			22
衛生学実習		23		23
公衆衛生学	11			11
公衆衛生学実習		45		45
医動物学	22			22
医動物学実習		23		23
法医学	22			22
法医学実習		23		23
医事法学	11			11
老年病学	11			11
膠原病・リウマチ学	11			11
神経精神医学	22			22
外科学	22			22
整形外科	33			33
皮膚科学	33			33
泌尿器科学	22			22

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数	
眼科学	22			22
耳鼻咽喉科学	22			22
放射線医学	22			22
産科・婦人科学	22			22
麻酔・蘇生学	22			22
臨床実習Ⅰ		585		585
臨床実習Ⅱ		720		720
臨床実習Ⅲ		698		698
口腔外科学	11			11
先端医学	22			22
遺伝子と生命	22			22
メディカルインフォマティクス (MI)	22			22
統計	22			22
医学英語Ⅰ	22			22
医学英語Ⅱ	44			44
救命救急医学	22			22
形成外科学	11			11
頭頸部外科学	11			11
心療・ターミナル医学	11			11
基礎臨床総合講義	11			11
臨床関連講義	22			22
臨床検査医学	11			11
自由選択学習		383		383
合 計	1576	2988	36	4600

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数	
1 学年	205	0	4	209
2 学年	110	0	0	110
3 学年	623	553	14	1190
4 学年	561	432	18	1011
5 学年	55	1305	0	1360
6 学年	22	698	0	720
合 計	1576	2988	36	4600

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医学史学（必修）、人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、医用（電子）工学（必修）、行動科学（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医学外国語（必修）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、医療情報学（必修）、高齢医学（必修）、在宅ケア・介護（必修）、プライマリ・ケア（必修）、家庭医学（必修）、臨床医学（必修）、人間関係学（必修）、医療保険（必修）

18. MD-PhDコースを設置している。

（在籍者は、4名。）